

平成 27 年度
愛宕倶楽部 春の総会
報告書



平成 27 年 5 月 9 日 新橋亭

1、 日時、場所

開催日時：2015年5月9日 18時00分～18時30分 場所：新橋亭

司会 常喜副会長

2、 出席者25名（敬称略）

赤羽紀武（昭和37年卒）、須田健夫（昭和50年卒）、大越裕文、谷澤洋、佐々木龍司（昭和56年卒）、服部晃（昭和58年卒）渡辺正光（昭和59年卒）、岩間徹、佐藤修二（昭和60年卒）山下晃徳、坂本吉正（昭和61年卒）、常喜達裕（昭和63年）、加藤明徳、黒田陽久（平成元年）、渡辺浩（平成2年卒）、山本尚、浅沼一成（平成3年卒）、鴛海元博、杉浦徹（平成4年卒）菊池信介（平成8年卒）阿部裕一（平成12年卒）、黒田高史（平成21年卒）、笠原祐太（平成23年卒）、小田嶋俊（平成24年卒）、河合裕成（平成26年卒）

3、 開会の辞：渡辺会長

4、 物故会員に対する黙祷

故 高木正造 先生（昭和24年卒）平成26年11月25日 ご逝去（享年91歳）

故 光吉俊明 先生（昭和24年卒）平成27年5月2日 ご逝去（享年93歳）

5、 報告事項（事務局）

① 会費納入状況

- 平成27年会費納入者24名（平成27年5月8日現在）
- 平成26年会費納入者63名（会費納入義務会員35.6%）＋会費納入非義務会員4名
- 参考）平成25年77名

② 会員からのメッセージ。（資料1）

③ 福永真治先生（昭和50年卒）ご退任 花の贈呈

④ 物故会員への献花

⑤ 慈大新聞 平成26年秋の総会 紹介記事掲載（資料2）

⑥ 硬式野球部春のリーグ戦 日程（資料3）

6、 審議事項

① 会費納入率向上（会計担当）

- 会員の口座から自動引き落とし手続きを行う（任意）。まず、世話人から開始する。
- 銀行口座振込用紙を印刷して送付する。事務局で検討。
- 学生の協力。

② ホームページの活用（広報担当担当）

- 学生のホームページとリンクを張る。
- 秋の総会までにその他の活用案を検討する。

③ 新企画（企画担当監事）

- OB戦：地方から参加されるOBに配慮すると、ドーム球場が望ましい。しかし、西武球場は1ヶ月前からの予約受付開始のため予定が立てにくい。東京ドームは、使用できる時間帯が夜間あるいは午前中であるため、企画しづらい等の問題あり。鴛海世話人を中心に今後検討を行う。
- 創立記念パーティーの開催：1901年（明治34年）に校友会（現在の学生会のような

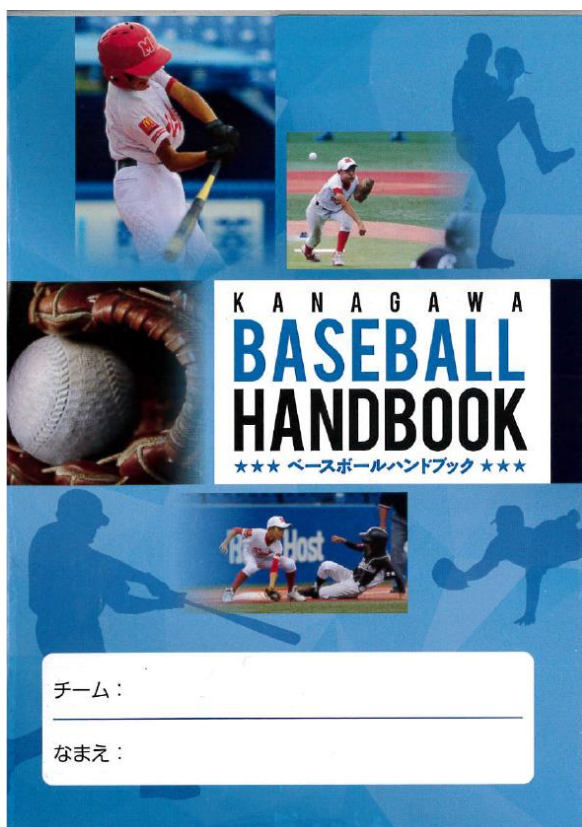
もの)が学校公認の機関として発足。同時に校友会所属の機関として、「ベースボール(現在の硬式野球部)」・「フットボール(現在のサッカー部)」が設置された。これが、硬式野球部の創立年と考えられる。今後、開催時期や方法につき検討予定。

④ 2015年 秋の総会日時 2015年12月5日(第1土曜日)

- 11月末の開催も提案された。

⑤ その他

- 岩間徹先生(昭和60年卒)編集責任のBaseball Handbookが新入部員に贈呈された。本書は、岩間先生が中心となり、野球肘をはじめとする健康障害を予防するために、神奈川県野球協議会が発効した。本書から体のケアの方法を学び、多くの少年に安全に野球を楽しんでいただきたい。岩間先生の献身的な活動に対し、会員並びに部員より拍手が送られた。



【発行】 神奈川県野球協議会

【編集】 神奈川少年野球手帳制作委員会
神奈川県野球協議会
神奈川県少年野球連盟学童部
リトルリーグ神奈川連盟
横浜市少年野球連盟学童部
横浜野球肘検診推進協議会

【編集責任者】 岩間 徹 横浜野球肘検診推進協議会 代表

【編集委員】 山口 宏 神奈川県野球協議会 理事長
岩崎隆久 神奈川県野球協議会 事務局長
今村勝也 神奈川県少年野球連盟学童部 理事長
大崎進太郎 リトルリーグ神奈川連盟 理事長
宮森和之 横浜市少年野球連盟学童部 理事長
坂田 淳 横浜市スポーツ医科学センター
リハビリテーション科 理学療法士

【編集協力】 神奈川県臨床整形外科医会
横浜市整形外科医会
横浜スポーツ医会
公益財団法人横浜市体育協会

資料1) 会員からのメッセージ

卒業年	氏名	出欠	コメント
昭和 24 年卒	高木 正造	欠席	ご逝去された旨、ご長男からご連絡をいただきました。
昭和 29 年卒	佐藤 泰雄	欠席	昨年 3 月で静岡社保病院を辞め、自宅におります。足腰が弱って、なかなか外出できません。
昭和 33 年卒	吉松 俊一	欠席	私が会長をつとめています全国的な野球大会と重なりまして失礼いたします。ご盛会を祈ります。
昭和 35 年卒	安部 匡	欠席	81 歳の年金生活ですが、ゴルフはまだ続けております。盛会になるように祈念しております。
昭和 35 年卒	小林 睦生	欠席	80 歳を越え、視力低下。夜間外出は困難です。皆様に義理を欠く生活となりました。
昭和 37 年卒	工藤 潔	欠席	強くなるためには、ディフェンスが大切、特にエースを育てることですね。盛会を祈っています。
昭和 38 年卒	奥脇 和夫	欠席	現役でいる限り会費は納入するつもりです。ご検討、を期待しています。
昭和 40 年卒	菅 正隆	欠席	ゴールデンウィークを利用しての海外旅行中につき欠席いたします。総会は欠席しますが年会費は遅滞なく・・・。
昭和 43 年卒	阿部 祐二	欠席	出席できず申し訳ありません。
昭和 44 年卒	塙 充弘	欠席	今日は春のような温かい一日です。いよいよ野球シーズンですね。頑張ってください。
昭和 45 年卒	垣田 康秀	欠席	今年で卒後 45 年になります。大学時代に合食。試合等今でも楽しく思い出します。
昭和 47 年卒	斎 謙	欠席	入院患者さんがいるので、広島から上京するチャンスに恵まれません。陰ながら、皆様のご検討を期待しております。
昭和 50 年卒	佐々木 弘文	欠席	術後のリハビリ中です。大変申し訳ありませんが欠席です。
昭和 61 年卒	椿 俊和	欠席	土曜日も終了が遅くなかなか参加できません。
平成元年	伊丹聡巳	欠席	4 月 4 日父が他界しました。今回は欠席させていただきます。
平成 2 年卒	清水昭吾	欠席	学会評議員会と重なり残念ながら出席できません。
平成 3 年卒	三條明良	欠席	申し訳ありません。土曜日も仕事があり出席できません。
平成 8 年卒	菊池 信太郎	欠席	昨年 6 月に院長を引き継ぎました。診療業務、公的業務で身動きが自由になりません。
平成 25 年卒	石川佳孝	欠席	第三病院外科にいます。
前部長	早川 敏之	欠席	徳島において講演がり、都合が悪く出席できません。

資料 2) 慈大新聞

第724号	慈大新聞	2015年(平成27年)3月25日 (8)
平成二十六年十月六日、新橋亭において硬式野球部OB会である愛宕倶楽部秋の総会および硬式野球部との合同懇親会が開催された。硬式野球部は、創部一〇八年を誇る本字の中でも最も伝統あるクラブの一つである。特筆すべきは、昭和二十年代には、その後プロ野球で活躍した名選手を数多く有した東都大学野球連盟一部リーグ第三位という輝かしい成績を残していることである。OBの結果も硬く、春と秋の年一回の総会には多くの会員が参加し、昔話に花を咲かせ、また現役部員諸君との交流を深めている。今回も、年末の忘年会シーズンにも関わ らず、OB会員千名、現役部員およびマネージャー三十二名あわせ総勢五十二名となった。まず、総会で活動報告、種々の議題について意見交換が行われた後、渡辺正光愛宕倶楽部会長(昭59)の挨拶より、懇親会が始まった。乾杯の音頭は、長年にわたる医師会活動が評価され旭日双光章を平成二十六年受賞された山田統正先輩(昭38)にお取りいただいた。乾杯の後、叙勲のお祝いとして愛宕倶楽部から益々の健康を祈念し花束を贈呈した。続いて、来春卒業予定の部員の挨拶と記念品の贈呈が行われ、全員で新しい門出を祝福した。し 出席者は、赤羽紀武(昭37)山田統正(昭38)池上雅博・大鶴裕文・谷澤洋・佐々木龍司(昭56)服部晃(昭58)渡辺正光(昭59)佐藤修二・阪本琢也(昭60)山下晃徳・坂本吉正(昭61)常富達裕(昭63)山本尚・淺沼一成(平3)鶴海元博(平4)菊池信介(平8)阿部裕一(平12)奥山虎章・柳垣亮(平26)。総会の報告書、懇親会の写真は愛宕倶楽部ホームページ(http://iikai.koya.com/)から閲覧可能である。本紙を通じてさらに多くのOBが参加されることを強く望んでいる。 (大越裕文記)		
硬式野球部OB会愛宕倶楽部総会開催 —山田統正先輩(昭38)の叙勲を祝い、 阪本琢也津南病院院長(昭60)を激励—  はしの歓談の後、出席したOB会員より近況報告や懐かしい昔話が披露され、笑いと歓声で大いに盛り上がった。特に、新潟県津南病院より遠路はるばる駆け付けてくれた阪本琢也君(昭60)との再会、同年代のOBにとつて大変うれしい出来事となった。同君は平成二十六年、津南病院院長に就任し、豪雪地域の厳しい環境の中、病院の責任者として献身的に診療にあたられており、今後の活躍を祈念し後輩部員よりエールが送られた。最後に生歌を斉唱し、来春の再会を誓つて散会となった。		

資料 3) 硬式野球部春のリーグ戦日程

- 4/29(水) 春リーグ初戦 VS 千葉 第一試合 於：千葉大
- 5/24(日) 春リーグ第二戦 VS 聖マ 第一試合 於：千葉大
- 5/31(日) 春リーグ第三戦 VS 昭和 第一試合 於：横市
- 6/7(日) 春リーグ第四戦 VS 日医 第一試合 於：千葉大
- 6/21(日) 春リーグ最終戦 VS 順天 第一試合 於：千葉大

平成 27 年度
愛宕倶楽部懇親会
硬式野球部新人歓迎会

司会 硬式野球部主将 岩内 聡太郎

1. 会長挨拶

愛宕倶楽部会長 渡辺 正光



愛宕倶楽部会長の渡辺です。中前君、大塚君、代田君、護守さん、瀧田さん、山本さん慈恵医大入学おめでとうございます。そして硬式野球部入部、心より歓迎いたします。我が東京慈恵会医科大学硬式野球部は創部明治 34 年、100 年以上の歴史を誇る本学で最も伝統のあるクラブです。しかしながらその伝統が意外にも脆弱であることが判明いたしました。何故かと申し上げますと、野球は 9 人揃わなければ試合はできません、部員が不足すれば休部、廃部となりこの伝統は簡単に途絶えてしまう

わけです。本大学は 1 学年 100 名の単科大学でありながら 27 の運動部と 15 の文化部が存在します。しかも近年 3~4 割が女子学生であるため部員確保が困難であることは誰の目にも明らかであります。昭和 9 年に始まった京都府立医大との定期戦は、府立医大野球部が部員不足で廃部になったため平成 8 年に消滅しました。君たちは、望むと望まざるに拘わらずこの伝統の一端を担うことになってしまったわけであります。アメリカ合衆国第 35 代大統領 J F ケネディーはその演説の中で「祖国が自分のために何をしてくれるのかを問うのではなく、自分が祖国のために何ができるのかを問わなければならない」と言っています。このように、君たちのみならず、現役諸君、先輩方も含め、大学や野球部が自分のために何をしてくれるのかと期待することも必要ですが、自分が大学や野球部に対し何ができるのかを絶えず考えて行動していかなければ伝統の継続は困難になってしまうと思うのです。

若干硬い話をしてしまいましたが、野球をはじめとする団体競技は、個人競技では経験できない、大きな感動、喜びを味わうことができます。そして時代を超えてこの感動を先輩と後輩が共有できるのです。そして我々は、仲間なのであります。今すぐとは申し上げませんが、いつかきっと、野球部に入ってよかったなと思える日が来ることをお約束して私の話を終わります。ありがとうございました。

2. 新入部員紹介

(ア) 中前敦介	土浦第一	外野手希望
(イ) 大塚悠太郎	東工大付属	投手希望
(ウ) 代田泰大	世田谷学園	投手希望
(エ) 護守菜邑 (ごのかみ)	県立柏高校	マネージャー
(オ) 瀧田万里	大泉学園	マネージャー
(カ) 山本葵音	浦和第一女子	マネージャー



3. 部長挨拶 慈恵医大硬式野球部部長 坂本 吉正
4. 乾杯
5. 戦況報告 監督 菊池 信介
6. 現役部員紹介
 - 医学科6年 山本 裕大・塩飽 克庸・伊藤 祐太郎
 - 医学科5年 細谷 聡史・福田 伸樹
 - 医学科4年 岩内 聡太郎・中村 嵩・岡本 有真・内山 敬太・川崎 健史・山本 修太郎
 - 医学科3年 生坂 光・石田 貴則・一志 將太・神谷 昂汰・津久井 宣博
 - 医学科2年 大曾根 忠将、坪内 賢太、町田 福太郎、増田 岳、磯 勇翔
 - 看護科4年 田山 夏帆
 - 看護科3年 伊藤 耀子・天野 里咲・飯尾 みのり
 - 看護科2年 佐藤 美月、渡辺 安梨沙、森藤 彩香
7. 愛宕倶楽部会員の近況報告
8. エール、学生歌斉唱



増田岳君（二年生）の豪快なエール

9. 記念撮影
10. 閉会の辞